

「ギルティ・クラウン」の曲の日本語と英訳はどう違うか  
How are the English translations of the songs from “Guilty Crown”  
different from the Japanese lyrics?

ジョシュ・ザック  
Josh Zak

82-373 Structure of the Japanese Language

1. はじめに

トピックは、「ギルティ・クラウン」の三つのオープニングテーマの日本語と英語を比べると、アニメのトーンはどう違うかということだ。このトピックを選んだ理由は、アニメの一般的な感じのために、オープニングテーマが大事だと思うし、「ギルティ・クラウン」の曲が好きだからだ。この曲は通常にアニメの第一印象からだ。さらに、このアニメに音楽は大きな役割を果たしているから、調べたいと思った。従って、このピックを選んだ。このトピックについて調べるために、「[www.hulu.com](http://www.hulu.com)」というビデオスタリミングのウェブサイトで見えるし、公式の字幕をしているから、その英訳を使うつもりだ。比べるために、授業のワークシートを使うつもりだ。具体的に、アニメに一つの特別なオープニングテーマと一つの普通のオープニングテーマを聞いたり、日本語での歌詞と英訳を比較したり、アニメのトーンはどう影響するかを調べたりする。その後で、見つける違いは文化の違いに起因するか答えてみる。

## 2. 日本語比較

「ギルティ・クラウン」というアニメには、正式にオープニングテーマの曲が二つあるけど、最初のエピソードの最初のシーンで主人公が歌う特別な曲がある。その曲はアニメ全体を通して曲が繰り返し再生されているから、調べたいと思った。曲名は

「Euterpe」で、日本語の歌詞と英語の歌詞を比べるために、「[www.hulu.com](http://www.hulu.com)」で公式の字幕を見た。曲の一番目の行は：

1) 日本語で「咲いた野の花よ」をしているし、

英訳は「Blooming wildflower」であるけど、

意味が全然違うと思う。日本語は動詞的な言語だから、野を説明するために「咲いた」という動詞を使って、咲くことに焦点を合わせる。逆に、英語は名詞的な言語だから、花に焦点を合わせる。直訳は「Flower in the blooming field」とか「Flower of the field in bloom」とかしている。他の動詞的対名詞的の例は：

2) 「一つになって // 小さく揺れた私の前に」という歌詞である。

英訳は「All alone now // You trembled before me」という歌詞の英訳であって、もう一度言葉の意味が違う。英語の直訳は「To become one // Shaking a little in front of me」またはそのようなものである。日本語で「一つになって」という表現は、

「Becoming one without anyone else」という意味が暗示されていると思って、「なる」の動詞を使う。そして、英語で「All alone now」という翻訳を使って、英語で普通に発音するために「All alone」の名詞的な構造を使う。この違いは、東洋文化と西洋文化の

違いに起因する。一般的に、英語は日本語よりもっとダイレクトな言語だ。結果として、英語でアニメを見れば、トーンはもっとダイナミックでわかりやすいと思う（英語のネイティブスピーカーであると）。でも、英語のネイティブスピーカーはアニメを日本語で見れば、暗黙の構造がわかりにくいかもしれない。

二番目のエピソードから十二番目のエピソードまで、オープニングテーマはいすも同じ「My Dearest」と呼ばれる曲だ。この曲も日本語の歌詞と英語の歌詞を比べるために、「[www.hulu.com](http://www.hulu.com)」で公式の字幕を見た。まず、英訳と比べて、曲の一番目の違いは：

3) 日本語で「いつか二人なら」となっているが、

英訳は「Someday if we're together」ということだ。

でも、この英訳は直訳ではなくて、日本語と英語の本質的な違いのせいというわけだ。ハインズによると、この本質的な違いについて、日本語は状態志向だが、英語は行動志向だ。だから、日本語の話者はよく状況に焦点して、英語の話者はよく人間に焦点すると言われた。日本語では、「二人なら」という表現を使って、「二人であるなら」または「二人ですなら」と同じと思う。このような表現の直訳は「to be two people」だけど、英訳は「我々是一緒であるなら」という日本語の翻訳だろう。実は、「二人」という表現は日本語らしく状態に焦点して、時間と一緒に変わらない。逆に、英語では「we are together」という表現は人間焦点があって、行動志向であって、時間上の変化を含む。言い換えると、英語の場合には、今日二人じゃないけど、いつか二人になるという意味を持っている。他の違いは：

4) 日本語で「私は君だけの味方になれるよ」となっているが、

英訳は「I can take your side, and yours alone」ということだ。

まず、日本語では、「なれる」という動詞を使って、英訳では「can take」という動詞構造を使う。「なれる」は「なる」の可能形の動詞だから、「can ~」によく翻訳される。でも、「なる」の意味は「to take」じゃなくて「to become」という意味があるから、英訳は直訳ではない。翻訳者はこういう言葉を使う理由はもっと自然な英語をつくることだと思うけど、「can be on your side」という英訳を使ってもよくて、直訳にもっと近いかもしれない。言われても、「take your side」はもっと自然に聞こえると思う。英語話者は状態じゃなくて行動に焦点するからだ。さらに、日本語で文の終わりに「よ」がある。日本語では、終助詞をよく使って、この「よ」は文に重点を置く。英語はこのような文法構造がない。

### 3. おわりに

結論として、「ギルティ・クラウン」のオープニングテーマの曲の歌詞は日本語らしい構造を使う。例えば、動詞的な文を作って、よく代名詞を省略するということがある。日本は暗黙の社会だから、この言語の構造を使わなければならない。そして、日本語話者は状況に焦点して、状態志向の言語だ。逆に、英語は明示的社会だから、名詞的な文を作って、いつも代名詞を使う。そして、英語話者は人間に焦点して、行動志向の言語だ。その文化の違いはちょっとわかりやすいと思うけど、どう文化に影響するか知ることがとても難しいと思う。でも、「ギルティ・クラウン」の場合に、日本語また

は英語で読むかどうかによって、オープニングテーマの曲の歌詞の意味が変わって、異なる方法でアニメのトーンに影響するかもしれない。そして、英語は行動志向があれば、英語の歌詞を聞く時に、日本語の歌詞を聞く時より激しいと思う。日本語の歌詞は愁いムードを植え込むかもしれない。結果として、日本語でオープニングテーマを聞くなら、トーンは愁い状況に焦点して、英語でオープニングテーマを聞くなら、トーンは激しい人間に焦点する。

データ出典

- <http://www.hulu.com/guilty-crown>

参考文献

- 参考文献 山田雅重(1997)『日本語の発想・英語の発想』
- 丸善 池上嘉彦(2006)『英語の感覚・日本語の感覚 <ことばの意味>のしくみ』

NHK ブックス